

平成30年度 決算

銚子市の わかりやすい 決算書



<http://www.city.choshi.chiba.jp/>

～ はじめに ～

本市では、決算の概要をわかりやすく解説した「銚子市のわかりやすい決算書」を発行しています。

本冊子は、難しい内容になりがちな決算について、見やすさを念頭において作成しました。

この『わかりやすい決算』を通して、市の財政に対して、皆様のご理解が深まるきっかけになれば幸いです。

※決算額は1円単位で報告するものですが、本書では見やすさを優先し、万円単位（万円未満四捨五入）で表示しています。

また、合計数を合わせるため端数の四捨五入の切り上げ、切り下げを調整している箇所があります。

目次

平成30年度一般会計の主な事業	1
決算の基礎知識	8
各会計の決算状況	9
一般会計決算の状況（歳入と歳出）	10
財政構造の弾力性と健全化判断比率	13
借金残高	15
貯金残高	16
普通会計決算の近隣市との比較	17

まずは、平成30年度決算における一般会計※の主な事業を紹介するちょ！

主な事業は、7つに分けられるちょ！！

- | | | | |
|---|-------------|-----|------|
| 1 | 地方創生推進交付金事業 | ・・・ | 2ページ |
| 2 | 保健・医療・福祉の充実 | ・・・ | 3ページ |
| 3 | 教育・文化の振興 | ・・・ | 4ページ |
| 4 | 生活環境の整備 | ・・・ | 5ページ |
| 5 | 産業の振興 | ・・・ | 6ページ |
| 6 | 都市基盤の整備 | ・・・ | 6ページ |
| 7 | 効率的な行政運営 | ・・・ | 7ページ |

※一般会計とは、地方公共団体の行政運営の基本的な経費を網羅した会計のことを指します。(詳しくはP8参照)



銚子市公認キャラクター ちょーびー



平成30年度一般会計の主な事業



○○○○○○○○事業		
	担当課	○○○○課
	事業費	○○○万円
財源	補助	○○○万円
	借金	○○○万円
	市	○○○万円
○○○○○○○○		

国や県、その他の機関からの補助金・交付金・負担金など


将来にわたって返済していくお金


市税や使用料、基金などの銚子市の自主財源


事業の概要




地方創生推進交付金事業

銚子円卓会議運営		
	担当課	総務課 (総務室)
	事業費	1,097万円
財源	補助	445万円
	借金	
	市	652万円
まちづくりに関わる様々な主体（地方自治体、金融機関、NPO法人など）が連携し、協議を行う円卓会議へ助成を行いました。		

企業・起業家誘致推進		
	担当課	観光商工課
	事業費	503万円
財源	補助	240万円
	借金	
	市	263万円
市外の企業や起業家の誘致による地域経済の活性化を図るため、「お試しサテライトオフィス」の開設などを行いました。		

スポーツツーリズム推進		
	担当課	観光商工課
	事業費	2,516万円
財源	補助	1,258万円
	借金	
	市	1,258万円
スポーツや健康の適地としてのブランディングを進めるため、スポーツ合宿施設「銚子スポーツタウン」の運営補助や犬吠埼エンデュロ（サイクルレース）を開催するための助成を行いました。		

ヘルスツーリズム推進		
	担当課	観光商工課
	事業費	887万円
財源	補助	443万円
	借金	
	市	444万円
銚子の地域資源を活用し、国内外の健康に関心ある人を呼び込むため、銚子ヘルスツーリズムの開発・運営、健康食品の開発・販売などを行う地域商社の事業者に対する補助を行いました。		

観光DMO構築

	担当課	観光商工課	
	事業費	2,319万円	
	財源	補助	1,156万円
		借金	
市		1,163万円	

行政、民間企業及び地域住民が連携し、地域が一体となった観光振興、観光地づくりの中心を担う団体に対して補助を行いました。

※DMO (Destination Management/Marketing Organization) …観光地域作りを行う法人のこと。

銚子さんまマラソン運営

	担当課	社会教育課 (スポーツ振興室)	
	事業費	793万円	
	財源	補助	396万円
		借金	
市		397万円	

銚子の自然・地形を活かし、地域のブランド向上、交流人口の増加を図るため、ジオパークにも認定された海岸線をコースとしたマラソン大会（第6回銚子さんまマラソン）を開催するための負担を行いました。

保健・医療・福祉の充実

地域活動支援センター（三崎園）整備

	担当課	社会福祉課 (三崎園)	
	事業費	5,240万円	
	財源	補助	
		借金	3,900万円
市		1,340万円	

民設民営を見据え、管理棟の解体工事などを実施しました。

子ども医療費等給付

	担当課	子育て支援課	
	事業費	1億4,982万円	
	財源	補助	4,394万円
		借金	
市		1億588万円	

0歳から18歳までを対象とし、通院・調剤・入院に要する医療費の助成を行いました。
(平成30年度から対象者を18歳まで拡充し、所得制限を撤廃しました。)

保育士処遇改善

	担当課	子育て支援課	
	事業費	1,778万円	
	財源	補助	889万円
		借金	
市		889万円	

地域実情に応じた多様な保育需要に対応するため、私立保育所に対し、保育士1人当たり2万円の補助を行いました。□

利用者支援（子育て支援）

	担当課	健康づくり課 (保健事業室)	
	事業費	243万円	
	財源	補助	162万円
		借金	
市		81万円	


保健福祉センターに子育て世代包括支援センター（すくサポ）を設置し、妊娠期から子育て期にわたる総合的相談や支援などを行いました。

子どものインフルエンザ予防接種

	担当課	健康づくり課 (健康・地域医療推進室)
	事業費	426万円
財源	補助	
	借金	
	市	426万円

子どもに対する季節性インフルエンザワクチンの接種費用の一部を助成しました。
(対象者：生後6か月～中学3年生)


銚子市立病院運営

	担当課	健康づくり課 (健康・地域医療推進室)
	事業費	4億3,057万円
財源	補助	
	借金	
	市	4億3,057万円

市立病院の安定運営のため、必要な経費の一部を市が負担しました。(貸付金を除く)

教育・文化の振興

国際スポーツ大会事前キャンプ等誘致

	担当課	企画財政課 (銚子創生室)
	事業費	300万円
財源	補助	
	借金	
	市	300万円

世界女子ソフトボール選手権大会に出場する台湾代表チームの事前キャンプの受入れを行いました。

地域交流センター・銚子芸術村整備

	担当課	総務課 (総務室)
	事業費	8,092万円
財源	補助	
	借金	7,100万円
	市	992万円

廃校となった旧第八中学校を活用し、「銚子市地域交流センター・銚子芸術村」を整備しました。

銚子西中学校整備

	担当課	学校教育課 (教育総務室)
	事業費	1億2,536万円
財源	補助	4,122万円
	借金	8,390万円
	市	24万円


令和3年4月の開校に向け銚子西中学校を整備するため、平成30年度は、屋内運動場の大規模改造を行いました。(第五・第六・第七中学校を統合し、現在の第五中学校の位置に統合校として銚子西中学校を開校します。)


小学校外国語活動補助員配置


	担当課	学校教育課 (学校教育室)
	事業費	360万円
財源	補助	
	借金	
	市	360万円


外国語活動補助員を配置して、小学校の外国語授業をサポートしました。

生活環境の整備

ごみ処理広域化施設整備			
	担当課	生活環境課	
	事業費	1億3,862万円	
	財源	補助	
		借金	7,350万円
市	6,512万円		
<p>銚子市、旭市、匝瑳市の3市共同で広域ごみ処理施設を整備するため、事業実施者の一部事務組合に対し、負担割合に応じた負担金を支払いました。</p>			

衛生センター基幹的整備改良			
	担当課	生活環境課	
	事業費	1億768万円	
	財源	補助	5,403万円
		借金	5,350万円
市	15万円		
<p>衛生センターの長寿命化と二酸化炭素の排出量削減を図るため、老朽化した施設を整備しました。 (平成30年度から令和2年度までの継続事業)</p>			

東部分署整備（消防施設）			
	担当課	消防本部 (消防総務課)	
	事業費	1億6,151万円	
	財源	補助	
		借金	1億6,130万円
市	21万円		
<p>消防署所再編計画に基づき、効率的な消防体制を構築するため、高神分遣所、海上分遣所を統合し、新たに東部分署を整備しました。</p>			

消防ポンプ自動車等整備（署用）			
	担当課	消防本部 (消防総務課)	
	事業費	3,372万円	
	財源	補助	
		借金	3,360万円
市	12万円		
<p>消防力の充実強化を図るため、古くなった消防ポンプ自動車の更新を行いました。</p>			





産業の振興

地域エネルギー事業推進

	担当課	企画財政課 (洋上風力推進室)	
	事業費	500万円	
	財源	補助	
		借金	
市	500万円		

自然エネルギーを使った電力供給を行い、電気の地産地消を目指す「銚子電力株式会社」を民間企業と連携して設立（出資）しました。

創業支援

	担当課	観光商工課	
	事業費	163万円	
	財源	補助	
		借金	
市	163万円		

中心市街地の活性化を図るため、中心市街地の空き店舗に出店する事業者に対して、支援を行いました。

有害鳥獣(イノシシ)被害対策

	担当課	農産課	
	事業費	260万円	
	財源	補助	57万円
		借金	
市	203万円		

イノシシを中心とした有害鳥獣による農作物の被害減少を図り、離農及び耕作放棄地の増加を抑制しました。

広域営農団地農道整備事業費負担

	担当課	農産課	
	事業費	5,188万円	
	財源	補助	
		借金	5,110万円
市	78万円		

生産地と消費地を直結した生産流通の合理化を図るため基幹農道整備事業に対する負担を行いました。



都市基盤の整備

橋りょう長寿命化対策 (社会資本整備総合交付金事業)


	担当課	都市整備課 (土木室)	
	事業費	4,488万円	
	財源	補助	2,366万円
		借金	1,790万円
市	332万円		


長期的なコスト削減と道路交通安全性を確保するため、長寿命化修繕計画に基づいた橋りょうの修繕工事を行いました。

市営住宅改修（長寿命化計画関連事業）

	担当課	都市整備課 (都市整備室)	
	事業費	6,049万円	
	財源	補助	2,639万円
		借金	3,400万円
市	10万円		


老朽化した市営住宅の安全性を確保し、耐久性を向上させ長寿命化を図るため、長寿命化計画に基づく外壁改修、受水槽更新などの改修工事を行いました。


市道舗装修繕 (防災・安全交付金事業)			
	担当課		都市整備課 (土木室)
	事業費		4,863千円
	財源	補助	2,128千円
		借金	2,720千円
市		15万円	
舗装修繕計画に基づき、市道の路面調査及び舗装修繕工事を行いました。			

住宅リフォーム補助			
	担当課		都市整備課 (都市整備室)
	事業費		708万円
	財源	補助	319万円
		借金	
市		389万円	
市内工務店を利用し、リフォーム工事を行う場合に費用の一部を助成しました。			



効率的な行政運営

総合計画改訂			
	担当課		企画財政課 (企画室)
	事業費		568万円
	財源	補助	
		借金	
市		568万円	
市民が一体となってまちづくりを進めるため、市民参加によるワークショップを開催し、市民の意見を取り入れた新たな総合計画を策定しました。			

行政改革関係経費			
	担当課		企画財政課 (財政室)
	事業費		10万円
	財源	補助	
		借金	
市		10万円	
効率的な行財政運営を行うため、行財政改革審議会や行財政改革市民委員会を開催しました。			



ここにあげた事業以外にも、いろいろな事業を行っているちょ！

どんな事業を行っているかは、歳入歳出決算に係る主要な施策の成果（市のホームページに掲載中）でみることができるちょ！



決算の基礎知識



決算のあらまし



一般会計の歳入は前年度に比べ18億4,932万円減（7.4%減）の230億7,511万円となりました。これは、昨年度実施した銚子市漁業協同組合の製氷工場建設費助成事業が完了したため、県支出金が減少し、国・県支出金が前年度と比べて13億5,041万円減（26.1%減）したこと、自主財源の大部分を占める市税が人口減少などの影響により前年度と比べて2億2,372万円減（2.7%減）したこと及び財政調整基金の取り崩しの減などにより、繰入金が前年度と比べて1億8,841万円減（41.3%減）したことが主な要因です。

次に歳出ですが、こちらも前年度に比べ17億8,386万円減（7.2%減）の228億6,564万円となりました。これは、旧市立銚子高校野尻校舎の解体費用で1億7,829万円、銚子市漁業協同組合への製氷工場建設費助成事業に対する助成金で10億7,450万円がそれぞれ皆減したことが主な要因です。

平成30年度の歳入歳出差引額は2億947万円の黒字となり、これから翌年度への繰越財源31万円を差し引いた実質収支額は2億916万円となりました。

しかし、これは水道事業会計からの借入金返済（平成26年度借入）や介護保険事業特別会計への繰出金を先送りして、なんとか黒字を保っているにすぎません。

子どもたちにツケを回さないための改革を進め、財政危機という銚子市の難局を乗り越えて健全な財政を確立するため、5年間（令和元年度～5年度）の緊急財政対策を平成30年11月に取りまとめました。

今後は、事務事業の見直しや市債の借入抑制による歳出の削減とともに、未収金対策や市有地の売却などの歳入確保を強化していく必要があります。

最後に特別会計及び企業会計についてですが、特に国民健康保険事業特別会計において、歳入歳出差引額が1億3,617万円の歳入不足（赤字）となり、平成29年度決算に引き続き、不足額を翌年度の歳入で繰上充用しました。昨年度に比べ、歳入不足は縮減していますが、引き続き、保険料徴収強化、未収金対策及び医療費適正化（特定健康診査受診率向上、ジェネリック医薬品使用促進など）を行っていく必要があります。



「一般会計」は、福祉や教育などの基本的な行政サービスを行うための会計だよ！

「特別会計」は、国民健康保険や介護保険など特定の事業を行うための会計だよ！

「企業会計」は、地方公営企業法が適用される事業として区分され、水道事業と病院事業を行うための会計だよ！

目的に応じて、いくつかの財布を持っているイメージだよ。



各会計の決算状況



区分	一般会計	国民健康保険事業 特別会計	下水道事業 特別会計
歳入総額 ①	230億7,511万円	80億9,580万円	24億7,806万円
歳出総額 ②	228億6,564万円	82億3,197万円	24億7,705万円
歳入歳出差引額 ①-② ③	2億 947万円	▲1億3,617万円	101万円
翌年度への 繰越財源 ④	31万円	—	36万円
実質収支額 ③-④	2億916万円	▲1億3,617万円	65万円

区分	介護保険事業 特別会計	後期高齢者医療事業 特別会計
歳入総額 ①	60億2,745万円	8億 10万円
歳出総額 ②	59億5,779万円	7億9,966万円
歳入歳出差引額 ①-② ③	6,966万円	44万円
翌年度への 繰越財源 ④	—	—
実質収支額 ③-④	6,966万円	44万円

「翌年度への繰越財源」とは、年度内に完了することができずに、翌年度へ繰り越すこととなった事業に充てる財源であり、事業と同様に翌年度へ繰り越す必要があります。

「実質収支額」とは、その年度の歳入から、歳出と「翌年度への繰越財源」を差し引いたものです。この値がマイナスとなる状態を、一般的に『赤字』といいます。

平成30年度では、国民健康保険事業特別会計で、1億3,617万円の赤字となります。



一般会計決算の状況（歳入と歳出）



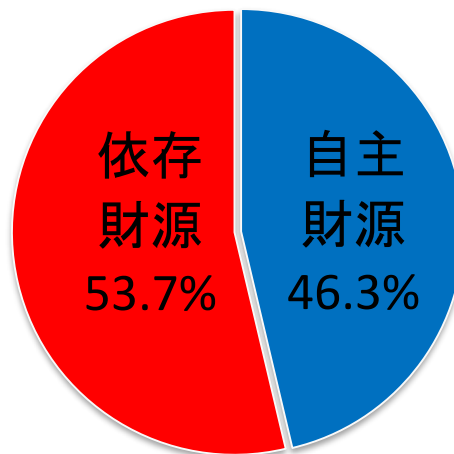
歳入決算状況

項目	説明	決算額	
		平成30年度	平成29年度
自主財源	市が自主的に集めることができる収入です。	106億8,387万円	110億4,680万円
市税	皆さんが銚子市に納めた税金です。	81億1,362万円	83億3,734万円
分担金及び負担金	事業に必要な経費の一部を受けるサービスの程度に応じて、利用者が負担するお金です。	2億3,099万円	2億3,506万円
使用料及び手数料	施設を利用する時や住民票などを発行する時にかかるお金です。	6億4,317万円	6億3,550万円
繰入金	各種基金（市の貯金）を取り崩して使うお金です。	2億6,774万円	4億5,615万円
その他	寄附金、土地や建物の売り払いなどの財産収入、諸収入、前年度からの繰越金です。	14億2,835万円	13億8,275万円
依存財源	国や県から交付される財源や市債（借金）のことです。	123億9,124万円	138億7,763万円
地方交付税	国に納められた税金の一部で、市の財政状況に応じて配分されるお金です。	48億9,374万円	51億 180万円
国・県支出金	国や県に納められた税金の一部で、特定の事業を行うために市に配分されるお金です。	38億3,315万円	51億8,356万円
市債	学校や道路などの施設を整備するために、国や銀行から借り入れるお金です。	20億1,838万円	20億2,727万円
その他	地方消費税交付金、地方譲与税、自動車取得税交付金等です。	16億4,597万円	15億6,500万円
計		230億7,511万円	249億2,443万円



自主財源が多いほど、財源に余裕ができるため、自主的な事業ができるちょ！！

平成30年度





歳出決算状況（目的別）

項目	説明	決算額	
		平成30年度	平成29年度
議会費	議会運営のための経費です。	2億 367万円	2億 345万円
総務費	財産管理、統計、税の課税や徴収などの事務にかかる経費です。	28億5,591万円	30億7,108万円
民生費	障害者や高齢者に対する福祉の充実、子育て支援などの経費です。	80億9,651万円	81億7,102万円
衛生費	環境保全、疾病予防、健康増進などの経費です。	24億 709万円	25億7,147万円
労働費	勤労者のための各種施設管理などにかかる経費です。	984万円	1,360万円
農林水産業費	農林水産業の振興、漁港整備などにかかる経費です。	4億4,602万円	14億1,886万円
商工費	商工業や観光の振興などの経費です。	4億 46万円	4億6,293万円
土木費	道路や河川、公園などの社会資本整備のための経費です。	15億 421万円	16億3,593万円
消防費	消防や火災予防などの災害対策のための経費です。	11億7,202万円	11億4,752万円
教育費	学校教育、生涯学習、スポーツ振興などの事業に要する経費です。	27億4,350万円	27億1,598万円
災害復旧費	大雨、地震などの災害により被災した施設を復旧するための経費です。	3,284万円	6,138万円
公債費	市債の元金、利子や一時借入金の利子のことです。	29億9,357万円	31億7,628万円
計		228億6,564万円	246億4,950万円



経費を行政目的
ごとに分類したも
のじょ！



銚子ジオパークPR大使
ジオっちょ



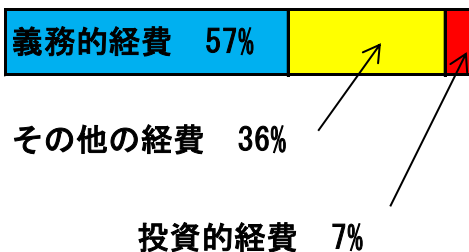
歳出決算状況（性質別）

項目	説明	決算額	
		平成30年度	平成29年度
義務的経費	毎年必ず支出しなければならない経費です。	130億8,877万円	134億8,543万円
人件費	職員の給料などに要する経費です。	56億6,594万円	56億5,257万円
扶助費	生活保護費、障害者支援費などの福祉や医療に要する経費です。	44億2,926万円	46億5,658万円
公債費	借金の返済などに要する経費です。	29億9,357万円	31億7,628万円
投資的経費	道路、学校などの建設や大規模改修など施設等の整備に要する経費です。	16億4,156万円	26億2,279万円
普通建設事業費（補助）	普通建設事業のうち国からの補助があるものです。	5億5,634万円	16億9,283万円
普通建設事業費（単独）	普通建設事業のうち国からの補助がないものです。	10億5,040万円	8億6,624万円
災害復旧事業費	大雨、地震などの災害により被災した施設を復旧するための経費です。	3,482万円	6,372万円
その他の経費		81億3,531万円	85億4,128万円
物件費	光熱水費、消耗品費、通信運搬費、委託料などです。	28億4,154万円	29億7,754万円
維持補修費	施設の維持補修に要する経費です。	1億1,105万円	1億8,362万円
補助費等	一部事務組合に対する負担金などです。	11億2,078万円	13億3,858万円
積立金	各種基金（貯金・運用資金）への積立金です。	1億9,581万円	1億 601万円
投資・出資金	水道事業会計等に対する出資金です。	977万円	1億1,978万円
貸付金	市が一時的に貸し出す経費です。	4億6,500万円	4億7,270万円
繰出金	特別会計の収入を補うための経費です。	33億9,136万円	33億4,305万円
計		228億6,564万円	246億4,950万円



必ず支出しなければならない義務的経費が57%もあるじょ！

平成30年度決算





財政構造の弾力性と健全化判断比率



財政構造の弾力性を表す経常収支比率は95.3%です。

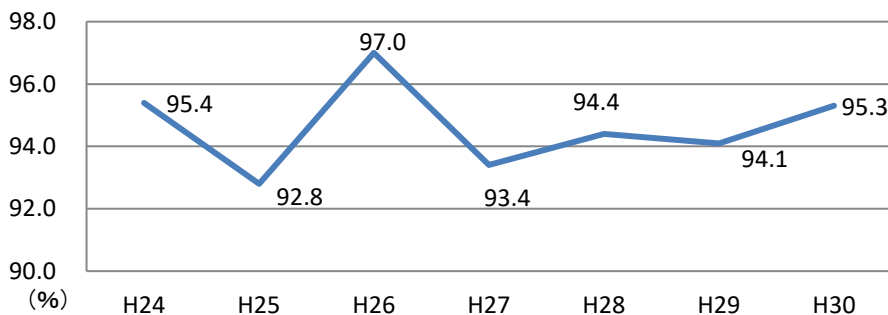


経常収支比率とは、人件費、扶助費、公債費等のように毎年度経常的に支出される経費に充当された一般財源[※]が、一般財源総額のうち地方税、普通交付税のように毎年度経常的に収入される一般財源に対し、どの程度の割合となっているかをみることにより、財政構造の弾力性を判断するもので、低ければ低いほど財政運営に弾力性があり、政策的に使えるお金が多くあることを示しています。

※その用途が特定されていない財源（地方税、地方交付税など）のこと。使い道が決まってる財源（国庫支出金、地方債など）は特定財源という。

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{人件費、扶助費、公債費等に充当した一般財源}}{\text{経常一般財源等(地方税+普通交付税等)+減収補てん債特例分+臨時財政対策債}} \times 100$$

経常収支比率の推移



平成30年度は、前年度の94.1%から95.3%へ悪化しました。主な要因は、経常的収入では市税（対前年度比2億2,372万円減）や普通交付税（対前年度比2億5,924万円減）が減少した一方、経常的支出では、人件費や扶助費に係る費用が高い水準を保っていることが挙げられます。

健全化判断比率って？



『地方公共団体の財政の健全化に関する法律』（平成19年6月22日公布）により、市は財政の健全度を判断するために設けられた健全化判断比率の算定及び公表が義務付けられています。

詳細は次のページに記載されていますが、市の健全度を判断するためには、4つの比率が用いられており、一定の基準を超えたときには、財政運営の健全化を図るための計画策定が必要となります。



健全化判断比率及び資金不足比率について



実質赤字比率

一般会計等の赤字が、通常見込まれる収入に対してどの程度の割合となっているかを示すものです。



連結実質赤字比率

全ての会計における赤字が、通常見込まれる収入に対してどの程度の割合となっているかを示すものです。



実質公債費比率

一般会計等がその年に負担すべき借金の返済額が、通常見込まれる収入に対してどの程度の割合となっているかを示すものです。



将来負担比率

一般会計等が将来にわたって負担を求められる負債の額が、通常見込まれる収入に対してどの程度の割合となっているかを示すものです。

健全化判断比率の状況	平成30年度決算	平成29年度決算	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	-	12.80%	20.00%
連結実質赤字比率	-	-	17.80%	30.00%
実質公債費比率	13.3%	13.7%	25.00%	35.00%
将来負担比率	146.5%	163.8%	350.00%	基準なし

※ 早期健全化基準及び財政再生基準は、平成30年度の数値です。

健全化判断比率の他市比較	年度	銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
実質赤字比率	平成30年度	-	-	-	-
	平成29年度	-	-	-	-
連結実質赤字比率	平成30年度	-	-	-	-
	平成29年度	-	-	-	-
実質公債費比率	平成30年度	13.3%	8.2%	5.7%	8.1%
	平成29年度	13.7%	8.5%	5.6%	8.5%
将来負担比率	平成30年度	146.5%	-	20.0%	63.7%
	平成29年度	163.8%	-	27.5%	55.2%

※ 平成30年度の指標数値は、決算カードの速報値となります。

平成30年度決算の指標は、左上の表「健全化判断比率の状況」のとおりとなりますが、同じく左下の表「健全化判断比率の他市比較」をみると、近隣の市よりも指標数値が非常に高いことがわかります。

その要因としては、特に市の貯金(=基金)が少ないことが影響していると考えられます。

指標数値がさらに悪化すると…



イエローカード

健全化判断比率の4つの指標のうち1つでも、『早期健全化基準』を超えるとイエローカード状態となります。

早期健全化基準を超えると、議会の議決が必要な財政計画を策定する必要が生じ、市主導で事業を行うことが難しくなります。



レッドカード

健全化判断比率の4つの指標のうち1つでも、『財政再生基準』を超えるとレッドカード状態となります。

財政再生基準を超えると、議会の議決が必要な財政計画を策定する必要が生じることはもちろんのこと、市の主導で事業を行うことはほぼできなくなり、国(総務省)主導で財政運営を行わなければならないようになります。



資金不足比率

各公営企業会計において、資金不足額がその事業規模に対してどの程度の割合となっているかを示すものです。

資金不足比率の状況	30年度決算	29年度決算	経営健全化基準
水道事業会計	-	-	20.00%
病院事業会計	-	-	20.00%
下水道事業特別会計	-	-	20.00%

※ 経営健全化基準は、平成30年度の数値です。

借金残高

一般会計借金残高(市債現在高)見込み

項目	平成30年度末	平成29年度末	項目	平成30年度末	平成29年度末
普通債	151億7,629万円	158億9,310万円	その他	126億1,655万円	126億5,126万円
総務	28億5,259万円	31億7,820万円	減税補てん債	2億3,410万円	3億2,090万円
民生	1億2,100万円	8,736万円	臨時税収補てん債	0万円	0万円
衛生	12億9,363万円	12億8,824万円	臨時財政対策債	120億7,703万円	119億9,718万円
農林水産	11億3,585万円	11億8,628万円	退職手当債	2億2,486万円	2億5,698万円
商工	3,420万円	4,009万円	減収補てん債	8,056万円	7,620万円
土木	27億9,445万円	30億3,080万円	計	277億9,987万円	285億5,361万円
住宅	1億3,487万円	1億2,139万円	市民1人当たり	450,682円	452,815円
消防	18億4,165万円	16億8,238万円			
教育	49億6,805万円	52億7,836万円			
災害復旧債	703万円	925万円			
農林水産	0万円	0万円			
土木	703万円	910万円			
教育	0万円	0万円			
その他	0万円	15万円			

借金の残高は、近年減ってきていますが、今後も必要な事業をしっかりと見極めて、借金の抑制に努めていきます。

☆ 近隣市の平成30年度末借金残高
 ※平成30年度決算カードより

- 旭市 300億1,482万円
(市民1人当たり 456,083円)
- 匝瑳市 163億3,157万円
(市民1人当たり 445,706円)
- 香取市 430億9,051万円

学校や道路などの大きな施設の整備には一時的に何千万円、何億円といった多額のお金が必要になります。そのお金を1年間の予算でまかなってしまうと、他の事業ができなくなってしまいます。

また、学校や道路などの大きな施設は現在の市民だけでなく、将来30年から40年もの長い間、たくさんの方が利用する施設ですので、将来の市民の方にも平等に負担していただくことも、市債を活用する理由の一つです。

世代間の負担の公平を図る上で市債発行の意義はもちろんありますが、前ページのとおり、近隣市と比較すると、健全化判断比率が非常に高い状況のため、ただ市債を漫然と発行するのではなく、市債を発行する事業の選択及び交付税措置のない市債の発行抑制を今後行っていきます。

※市民1人当たりの金額は、平成31年1月1日現在の各市の人口から算出しています。



貯金残高

貯金残高（基金現在高）見込み

基金名	平成30年度末残高	平成29年度末残高
財政調整基金	2億1,433万円	2億1,531万円
災害救助基金	1億1,449万円	1億2,074万円
国民健康保険事業財政調整基金	0万円	0万円
一般廃棄物処理施設整備基金	7,834万円	164万円
豊里住宅団地公共施設整備等基金	3億8,656万円	3億9,395万円
減債基金	96万円	96万円
ふれあい福祉基金	3,571万円	1,950万円
介護保険事業財政調整基金	3億4,823万円	3億4,821万円
地域再生基金	2,763万円	6,296万円
がんばれ銚子ふるさと応援基金	1,951万円	1,205万円
公共施設整備等基金	101万円	1,457万円
民力復興基金	600万円	1,261万円
銚子電気鉄道応援基金	3,169万円	2,501万円
一般廃棄物最終処分場設置地域振興基金	47万円	34万円
銚子市漁業振興基金（平成30年度新設）	1,000万円	
計	12億7,493万円	12億2,785万円
市民1人当たりの財政調整基金現在高	3,475円	3,414円

基金とは市の貯金にあたるもので、予算不足に充てるための「財政調整基金」と使い道が決まっている「特定目的基金」に分けられ、その残高を表しています。

以下の表のとおり、近隣の市と比較すると、銚子市の財政調整基金がいかに少ないかがわかってと思います。今後は、財政調整基金の現在高を適正な額[※]に維持していかなければなりません。

※銚子市の財政規模であれば、15億円程度の現在高があると望ましい。

☆近隣市の財政調整基金現在高（平成30年度末）

（市民1人当たりは、平成31年1月1日現在の人口で算出）

※平成30年度決算カードより

○旭市	95億1,754万円	（市民1人当たり 144,621円）
○匝瑳市	30億6,530万円	（市民1人当たり 83,655円）
○香取市	65億5,449万円	（市民1人当たり 85,228円）



普通会計決算の近隣市との比較



市民1人当たりの歳入決算額



項目	銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
自主財源	173,225円	169,593円	148,371円	175,124円
市税	131,612円	115,325円	108,227円	116,858円
分担金及び負担金	2,273円	2,120円	3,777円	2,807円
使用料及び手数料	12,453円	9,928円	3,330円	5,665円
繰入金	4,343円	7,189円	11,478円	18,791円
その他	22,544円	35,031円	21,558円	31,004円
依存財源	201,630円	317,510円	256,783円	306,134円
地方交付税	79,382円	134,905円	127,590円	106,870円
国・県支出金	62,803円	81,657円	71,382円	93,003円
市債	32,745円	73,308円	29,446円	77,053円
その他	26,699円	27,640円	28,366円	29,209円
計	374,855円	487,103円	405,154円	481,259円



市民1人当たりの目的別歳出決算額



項目	銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
議会費	3,304円	3,327円	5,095円	3,169円
総務費	43,522円	81,693円	46,761円	54,946円
民生費	132,837円	130,170円	138,270円	147,116円
衛生費	40,065円	82,229円	43,419円	41,187円
労働費	160円	25円	0円	143円
農林水産業費	7,247円	24,903円	15,992円	22,679円
商工費	6,496円	5,406円	5,776円	9,672円
土木費	25,483円	33,220円	21,827円	54,932円
消防費	19,012円	18,254円	20,627円	21,606円
教育費	44,210円	36,179円	42,673円	87,353円
災害復旧費	565円	0円	108円	799円
公債費	48,559円	45,620円	43,004円	43,940円
計	371,457円	461,027円	383,551円	487,542円



市民1人当たりの性質別歳出決算額



項目	銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
義務的経費	212,315円	204,939円	197,371円	178,948円
人件費	91,908円	83,260円	69,964円	61,474円
扶助費	71,848円	76,059円	84,404円	76,962円
公債費	48,559円	45,620円	43,004円	40,512円
投資的経費	26,646円	86,612円	31,791円	102,144円
普通建設事業費(補助)	9,025円	22,973円	2,776円	85,939円
普通建設事業費(単独)	14,509円	62,272円	24,586円	13,342円
県営事業負担金	2,548円	1,367円	4,321円	2,127円
災害復旧事業費	565円	0円	108円	736円
その他の経費	132,496円	169,475円	154,389円	168,413円
物件費	46,419円	50,172円	45,560円	48,846円
維持補修費	1,805円	3,253円	5,778円	2,269円
補助費等	18,181円	55,506円	58,933円	62,019円
積立金	3,176円	1,595円	774円	2,458円
投資・出資金、貸付金	7,701円	20,564円	5,823円	5,843円
繰出金	55,213円	38,386円	37,521円	46,977円
計	371,457円	461,027円	383,551円	449,505円

普通会計とは、他団体と比較するとき用いられる会計です。総務省の定める一律の基準で各地方公共団体間の財政比較が可能になるようにしています。

本市は、他市と比較すると、人件費が多く、補助費等が少ないことが大きな特徴となっています。これは、市立高校を有しているため、教育関係の職員数が多いことやごみ処理業務、消防業務などを直営で行っているため、一部事務組合に対する負担金が少ないことが要因といえます。

なお、ごみ処理業務は、一部事務組合（東総地区広域市町村圏事務組合）の広域ごみ処理施設が令和3年度から稼働する予定です。

またもう1つの特徴として、公債費が他市と比較すると非常に多いということです。これは、千葉科学大学建設費助成事業や市立高校整備など大規模な事業が平成16年度以降続いたため、その償還が毎年あります。大規模事業の中には、償還が終了したものもありますが、千葉科学大学建設費助成事業の償還が終了する令和7年頃までは、比較的高い水準で推移していく見込みです。



平成30年度決算
銚子市のわかりやすい決算書

■発行年月日 令和元（2019）年10月

■発行・編集 銚子市・企画財政課財政室

〒288-8601 銚子市若宮町1番地の1

電話 0479-24-8926

Fax 0479-25-4044

■銚子市ホームページ

<http://www.city.choshi.chiba.jp/>
